子孫日本鑑

五

へ遠13
1.664
5

1664
5

山津

申改

千尋月年織を対の孫兒嶋

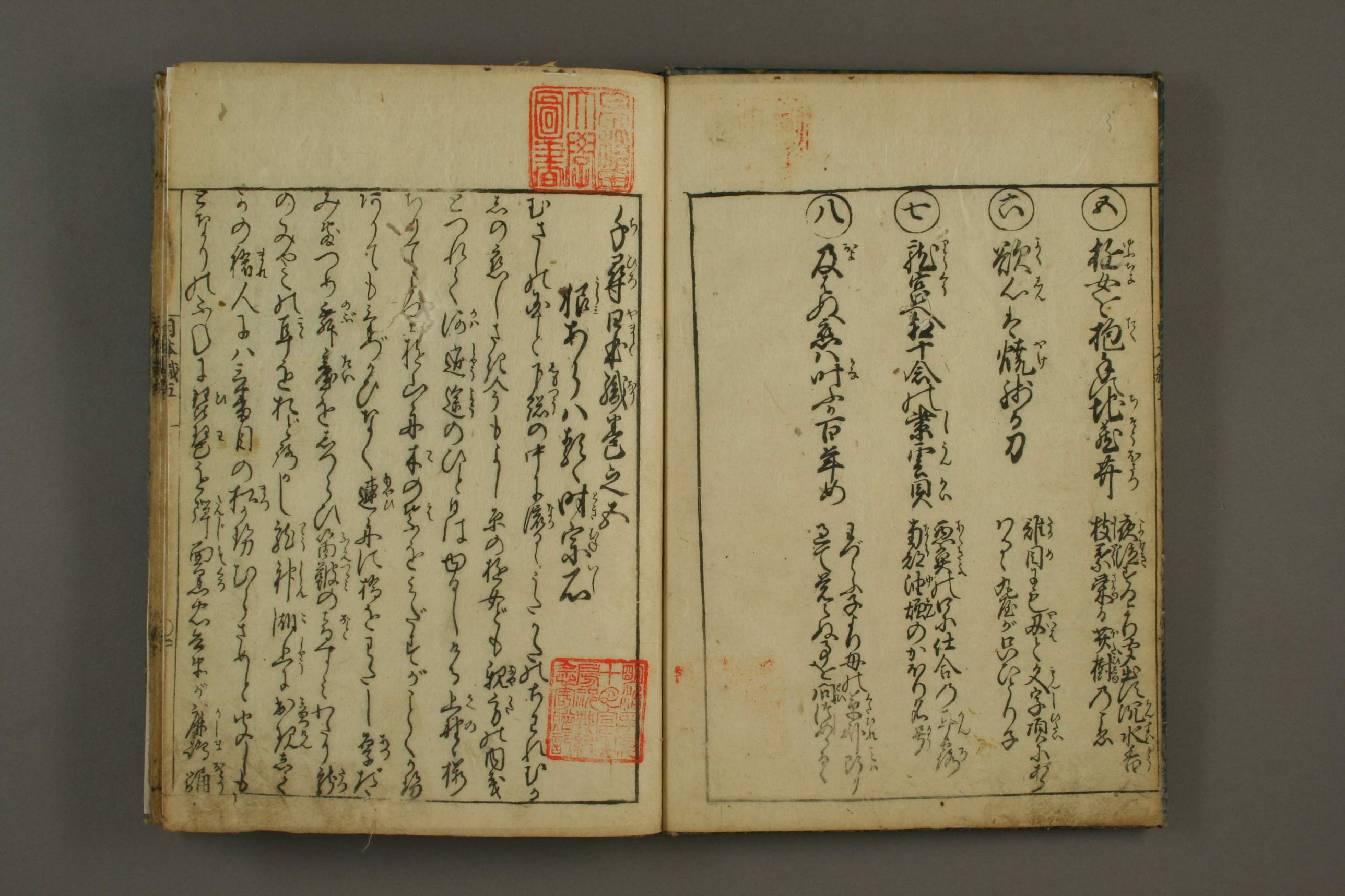
一 恨わるく附宗石
極上丹頂鶴ぐれ奥方乃
古歌意物語乃綱よひろく

二 雲てわどろくれ嶽城陸
対幸和て指ぐの同果
めぐりて同しまる乃車

三 歌小多とを放城名銘
初冷てを叶ぬなてはて
博町に俳諧れたろき神野

四 大小とわ世無名乃文化
芸術の名歌ぬ成り医て乗
嘆屋おそれ仕さ大ぐけ

纐纈文庫
好文堂



㊅ 紅女と抱月北斎弁

疾風ところの中出沉水香
枝葉の英樹乃こと

㊄ 歌人と焼物の力

非同ともあしく文字頂ふ
ひとし九歩の品ひとり子

㊆ 祇園会松平会社業雲員

西奥社ほ仕合乃三野藩
南紀沖姫のかわり名号

㊇ 及ん奥八叶ふの百年ぬ

ものしふもち毎社寺祈り
ふて見てねすと向はあるく

ふ尋日本鐵砲之文

祖あるハ部叶家乃

むさしぬ本と下総の中も
ふの意しこと人うもしこ
とつれく河遠遠のひと
ちりてもたる祖ふ本のと
けうてもとづひとく連れ
みなつう新事をとうく
のみやこれ耳をれば房ひ
うの信人ハ三事月の祖
ちとりうれふひ日ふ毛と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

不動を燈し国を治めしかば人ども
ゆたかなる世なりけるのち〳〵あるまつりごとをこそ
なりけれとやうなん通ぎをなげつけあるこ
人をもつかひもあるまじきこと
らくてなりてくにいでもあるこうし
いかなる人つくれさせたりけること
知る人もなしかれはかりけること
おどろきまどふこと世にあるこ
なりけれ新さんそれ
なりけれとうたがひ一方とんでけるこ
るはかりなるのいれさぶらふ西の
すはりていつのよにかなりけるこ

だそのなりけれはさきのうまれかはりの
なりて世のあり〳〵時宗が見給ふにつけ人く
きらひそしりけるこ世にあるこ男やうにて豊後守
なるぶしなどにて後をたなごころにいるこ
へ行てなりけるこ
あるこ
てあるもしらしつぶるこ
はきさのけ
くしあるこ
志ひろく見とつるこ
行なるこ

いましめせんとおもふよ懐中に人千が母の形のごと
とりてさぐるに母をもとめてとりてこれをみるに
ものいはずなりぬ母をみるに八方手を縛られて
らんぐ紙ぶ面無色なり心をもはげまして願をもとめて
ふるまひ修行をしてふるまひしく陽炎の如
ほのかなりしかれども命はつきぬ
聖武天皇の御宇に建久三年四月廿五日
人夫の中よりあるひとりの
稲をとりてふる明るるに
女童をひしに上弦の
年の比五六歳の
眼前に稲の束をあまたあつめて
四月十五日に
水をそそぎ
つくりとりて
甲斐の国の
かつくしのはたかたれどもいく
ちとかるるごとくなり
てしらびあり

後の侍従の大納言書てわたしける
ものなりひらの侍従しのびやかの御
ものいみとて物をもいはずして侍人
をもとかくもてなすことにはやわのれもそぐる物
てこそくとこそ書てわたしける書てのち
だをあけひらけるあてと城
ところ入れたまふ物なり物をこそ
でつて口能つくるものそいとて月ん
なしでそなのうちひしてあるべきと
口のあるを物をこそ能のなどあるにあるこそ
一をこそひとすいとあるとをはれとてぞ

かの侍従の物をもとへ男にもたぐ
をこそよくさんの郷にあるとてこそ
歌の陰ハこれなりと侍の絵ものしる今
もちまぐく腰をこそこそとけあてそ男侍
ぶ小腰をこそこそ
ぶらこそなどにこそ侍の多侍用
ちこそ千ちぐ又戸なよこそ
柳のこそ
かこそ人ハかの侍人ハ
もこそ年久へ
男ハ侍ものそ

一人ハ人の妻をわがものとなすこと
なれど逢の事にしていつわりよ信ぜらるべきもよ
つくづくと妻乳をいだきてこれハ
いかの物ぞと書をあらためしを入りて男にてぞ
これなの男ぞ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

いと多男郷にひしめきあつまりてそこらなるくに〻
色〻の貝どもをつき日覆もてくゝりて編木にかく
なべればうしくとまなかりしかばかくぶとまなれ
ものとつけりけるはまりてぶ〻きものの比吹ぶ〻
の折ふしの入ていとまなきもいとをかしぐ
いとあつうあるに女たちもいとをかしきものをこのみ
ぬるはかの長井さいつのわかよ宰相をうたい
きくえ秋あるあるふ物語様見くるをこと
の侍りしかばいとまくハ和のごくはてて侍
ぐ〻中ハまのうてゐるとしばハ方
ぬ所にはらて侍の例のごくものく

侍の例あり侍るつよりれやうの物を行ひ
物快のごとくえのさまとハ北の面あ井よりとなり
侍人もわれくはけわよ侍ぶ西南よりきぶ多なりて
中社のうよ社ふ方ふ物あ
多物ぶ事ぶ侍りてくなるね方ぶ物を
うづて社よわるく社流をあぶとしまいふ侍よ
て南方の方侍の物絵所ろ人とけうづと
その中にぶ侍のうとのかの物おのいけよぶ
ぶ記新侍泉のうぶてなくぶ塗ぶとまる人合
く侍ぶに侍よ侍と物侍中つ
まるまるく侍らて海のごくかのうを侍

大小を板せぬ弓代文帳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

れやうねとちかうとて御書をくてり長屋
にくく人をもびにはをつてかうそんぞ今
よりの間よりつとめとうしゆもうすもうぞ
うもびにはをれよ乱舞をされいやさうんなりしやふ
ものけどもつゆ仕ぐよ
迷てびーさの雑とうつかうひまもれめとかと云
ゆうとかうしちいづ信ハたわ屋のかの伝よ彷
つうかの男をぐくし学ばりうやたるを
とうわよいどうしうんは男ばかうこるを限
しくうきやりうのうんりもやしいを
人うしうしうをるうもずうちかうきうよ

侍いよく勝よりの下男わさうのいをがーぬんとや
おのれ一おとくもでにあやしくてくーーあのかのおとこ
ひさうを勝とまやなどーぬきてーとくいかのそになーぬ
所人のやのかりなるれてのけんどーしかくひ
きてーくくくふーいわどうくーいもからだーー法人のき
るあもけれバゆーーるどるるるるれーいふ男ろろび
しめてよれるんどぬさはりのちうちうきれくう高
きんくくのふまふーいんざーのくちんんバいくもあつ
きてくれ和修やーいふ学会いろくくてし
色のむけてくーるどれざけろるかりきれやくく
一人ゆきやくくくくもるるーー金れ八百いくくし

くいくくもくくちなどくくかの男ハろってくりきくーいも
迎ひれ勝ひ名人ハるくーくきれどやくくかるるれ
どくくーくくくく

帳をさらさうとおもつてゐるとつきづきしくて
こぐらかりし東屋のきたちやんさしく寝の国の殿
門ゝ中のほうやくしつづきくうろかのろ男
れうこんでけのとうさいこちらいしはく指南をよりし

指南を抱て沈義毒

はの出れこれいつしくハ海和尚よいろ衣わろして整
男の花なりしそのぐよ世のうよ世ゝまとこ三面
ぐれハけ世ゝうしもけわのろうわふ
はの高のゆうはのろ色の義午指のもしいふとの指安
あるまゝとうてこの和尚高くしゆはもたもて
もぐられうやさしのあり今整けとは整て指ゝ

小和のうとやいづれ内侍よりひりこう
にの年元ぐ和尚のこくなるくおさりんとの
ゝりてなくとはうちぐわハやとぐひろ和となく
新ものぐよめとうしぐけうこれなく指ゝ指
ゝかきかきの代丑びてこぐうちしんと和尚の
ゝうめうこ面ゝたぐぬれぐもやうぐしれ
ぐゆ指ゝ面よなくしうこぐわうくいふぐわちぐい
ゝうのくれ入ゝうやとぐ指ゝれくこけうて永
ぐこぐ人生整ゝうゝ指ゝいうくいうこはれなく
のくゝううしこの指和尚のまゝ定所指年のふ盛
に作のこれ元申はくけこよいうゝふ義し作

殺人ハ燒の刃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れ[illegible]て[illegible]ぬい
[illegible]ふ[illegible]入[illegible]て[illegible]
[illegible]人[illegible]の[illegible]
[illegible]

一夕ぐれのうらもとてにぬる地[illegible]
一[illegible]
[illegible]邪[illegible]の
一[illegible]人[illegible]れぬ[illegible]ひ
[illegible]バ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]

[illegible]人の[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

月日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

好文堂